

今回の訪問先



リレー訪問 農場に勤める

誇りと夢

最終回 [後編]

いずれ、世界中の農場で 通用する養豚家に……

豚や牛、野菜、肥料など幅広い事業を大規模展開する(株)はざま牧場。同社に勤務する有馬聡氏のもとを訪れた堺浩司氏は今回、有馬氏の働き方や仕事を通じて学んだことなどについて話を聞いた。

今月のホスト

(株)はざま牧場 (宮崎県都城市)
養豚事業部

有馬 聡 (25歳)

今月のゲスト

(有)コココファーム (熊本県菊池市)
選卵部門 工場長

堺 浩司 (26歳)

海外研修で学んだ 考え方で農場改善

有馬 有馬さんは海外研修にも行かれたことがあるそうですね。

有馬 ドイツに3カ月間、続けてオランダに4カ月間研修に行かせていただきました。

堺 計7カ月ですか。そんなに長い間研修に行くんですね。

有馬 これだけ長期間の研修で海外に出すのは、うちの会社でも初めての試みだったようです。研修に行ったのは僕が入社して1年も経たない頃だったんですが、社長の考えとしては、農場や日本の考えに縛られる前に新しい考え方を学んで来てもらいたかったようです。そこまで御膳立てしてもらったら僕にも自然と使命感が湧いてきましたね。

堺 それは研修に行く方としても燃えますね。それで海外の農場はどんな感じだったんですか？

有馬 うちの農場と同じくらいの規模の養豚場で研修したんですが、作業人数はうちの半分以下でした。その分、作業は大変だったんですけど、向こうのスタッフはそれが普通だと思っていて作業も十分こなせているんです。

堺 日本のやり方と何が違うんですか？

有馬 機械化が進んでいるというのが大きなポイントだと思います。餌の量や時間も全部コンピュータで管理されていて、豚がどれくらい食べたかもデータ化されていました。おそらく社長はこういうことも学んできてもらいたかったんでしょうね。

出して、改善を進めていました。堺 そこまでやるんですね。有馬 最初に研修したドイツでは、僕は水洗いをあまりやらなかったんですが、今思えば大事な作業だからこそ研修生である僕には任せてもらえなかったのかもしれないですね。オランダでもそうなんですが、平日はルーチンワーク以外の仕事、土日は必ずやらなくてはいけない仕事だけやって帰るといようなワンウィークシステムというのがあって、1週間の作業が全部決まっているんです。だから、僕が予定通り作業を終えることができないと思ったんでしょう。

堺 得るものが多い研修だったようですね。

有馬 そうなんですが、かなり悔しい思いもしました。オランダでは研修先をお世話してくれた日本の会社に仕事ぶりが報告されていて、その報告内容を知る機会があったんですが、僕の評価はもう最低レベルだったんです。なぜ研修に来ているのかまったく理解していない、やる気が感じられない、豚舎の水洗い作業ひとつとっても農場の求めるスピードについて来れていないとか書いてありました。

堺 さすがに厳しいですね。でも、うちも養鶏をしているので鶏舎の水洗いはするんですが、スピードだけではなく丁寧さも大事ですよ。

有馬 もちろん僕なりに一生懸命やっているつもりだったんですが、それでも求められていた仕事のレベルには全然達していなかったようです。悔しくて仕方なかったんですが、これで意識も変わりました。

有馬 病気の問題にもつながることなので水洗いの丁寧さは大切ですが、オランダではスピードを求められたというのが実感ですね。それと、検討会というのがあって、月に一度、獣医さんや飼料会社など、農場の関係者すべてが集まって問題点を洗い

堺 そんな体験をして日本に帰ってきたら、職場の風景が以前とは少し違って見えたんじゃありませんか？

有馬 そうですね。昨年の11月に帰国してから、海外で学んだことをもとに農場の改善案を提案したりもしました。もちろん日本には日本の事情ややり方があると言われることもあって難しさも感じたんですが、残業が以前に比べて減るなど、変わっ



有馬 聡

ありま・さとし●1983年宮崎県生まれ。宮崎大学農学部で農業経済を学んだ後、06年(株)はざま牧場入社。その後、ドイツ、オランダの養豚場での海外研修を経て、現在、リキッドフィーディング(液状飼料を使った給餌システム)の開発を担当する。



堺 浩司

さかい・こうじ●1982年熊本県生まれ。高校卒業後、東京、福岡、北海道などで様々なアルバイトを経験。03年熊本県に戻り、(有)ココファーム入社。現在、卵の選別や出荷などを行なう選卵部門で工場長を務める。



間和輝社長が仕事の合間を縫って若手の質問に応じてくれた。農業者としての将来について「人がマネできないこと、人に必要とされることをしなさい」と間社長。

たこともありました。これは人件費削減の意味でも大きな効果があったと思います。

堺 生き物相手の仕事なので定時で終わりというわけにもいかない気もしますが……。

有馬 なるべく豚を見ておいた方が良いというのはその通りなんです、それを追求していくと24時間つきつきりになってしまふ。自営なら夜に見回りもできるんですけど、企業だと事故があった場合にどうするのかということもあって。

堺 とところで、最近になって担当業務が変わったとか。

有馬 帰国してからしばらくは現場で豚の管理をしていたんですが、今はリキッドフリーディングという液状飼料の開発を任されていて、ほとんど事務所で作業しています。この飼料は、

変化のある仕事 自分を成長させる

堺 その方が効率上がるのかもしれないですね。

有馬 嘘のようは本当の話なんです、養豚の場合は育てる側の心の持ちようでも豚の様子が全然変わってきて、それが成績にも表れるんです。だから、きちんと仕事ができる環境を整えるという意味でもこのやり方は良いのかもしれない。

堺 ところで、最近になって担当業務が変わったとか。

有馬 帰国してからしばらくは現場で豚の管理をしていたんですが、今はリキッドフリーディングという液状飼料の開発を任されていて、ほとんど事務所で作業しています。この飼料は、

堺 その方が効率上がるのかもしれないですね。

有馬 嘘のようは本当の話なんです、養豚の場合は育てる側の心の持ちようでも豚の様子が全然変わってきて、それが成績にも表れるんです。だから、きちんと仕事ができる環境を整えるという意味でもこのやり方は良いのかもしれない。

堺 なるほど……。

有馬 企業としては、できる事とできない事を線引きする必要はあるんだと思います。ただし、仕事中はこれだけは絶対やると決めて本当に集中してやりますよ。作業の合間でも豚が何かしらのメッセージを僕らに発しているかもしれないと思ってよく見るようにしています。

堺 また全然違う仕事内容になったんですね。唐突な配置換えでとまどったりはしなかったんですか？

有馬 そういう気持ちも多少はありますが、一カ所に留まらないことで新たに覚えてくることもあるので勉強という意味では本当に良い機会です。飼料がどういう風にできているのかが分かったりもしますし、コストのことも考える仕事なので改めて数字の大切さもよく分かりました。まだ現場感覚が残っているので「豚は数字だけじゃない」なんて思うこともあるんですけど（笑）。

堺 うちの農場では現場の間も経理に関わるのでその気持ちはよく分かります。

有馬 自分がやりたいようにやるだけなら、僕の場合は実家で養豚をやっているが一番なんです、立場が人を変えらるという事もあって、この方が成長できるような気もしています。

堺 それは同感ですね。僕に農業を

堺 うちの農場では現場の間も経理に関わるのでその気持ちはよく分かります。

有馬 自分がやりたいようにやるだけなら、僕の場合は実家で養豚をやっているが一番なんです、立場が人を変えらるという事もあって、この方が成長できるような気もしています。

堺 それは同感ですね。僕に農業を

仕事にするきっかけを与えてくれた人が「足元を掘れ、そこに泉がある」と言ってくれたことも思い出しました。人を喜ばせたいのなら農業だつてできる、原点は一緒だからそこを掘り下げていけばいいということを教えてくださいました。有馬さんも一見いろいろなことをしているよう

堺 それは何かぐつと来る目標ですね。

有馬 その前に、まずはリキッドフリーディングの成功ともっと効率化した農場にしていくことを目指したいと思います。それと、現場では食卓までの流通がどうなっているのかを考えることが少なかったんですけど、もう待っているだけでは買っていないだけ時代ですよ。今後は、そういうことも意識して、新しいやり方を取り入れながら頑張っていきたいと思っています。

堺 お互い頑張りましょう。今日はありがとうございました。